

第2回 高知大学強相関電子物性研究会 プログラム

2022年8月29日～30日

高知大学朝倉キャンパス メディアの森6階メディアホール

本研究会は、物性研究の実例について紹介するチュートリアル講演（8/29午前）セクションと、先端研究者が最新の成果を語るセミナー（8/29午後～8/30午前）セクションからなっています。いずれのセクションにおいても、興味を持たれた方（学部生・院生・教職員・一般の方）は自由にご参加いただけます（参加無料）。特にチュートリアル講演は物性研究について予備知識のない方（学部1年生～）の参加を歓迎します。

※ 新型コロナウイルス感染対策を十分実施の上、開催します。参加者はマスクの着用をお願いします。感染状況の変化によっては予定を変更する場合があります。県をまたいでの移動に制限が課されるなどして、講演者の大半が参加できなくなった場合は大幅に縮小（チュートリアル講演のみ）あるいは全体を中止することがあります。

チュートリアル講演 8月29日 AM

8月29日

9:50～10:20	加藤治一（高知大学）	強相関電子と物性実験
10:20～10:50	辻井直人（NIMS）	NIMSの研究・熱電材料研究の紹介
休憩（10:50～11:00）		
11:00～11:30	酒井宏典（原子力機構）	原子力機構の研究・NMR研究の紹介
11:30～12:00	桜井裕也（NIMS）	水素社会実現に向けた磁気冷凍技術

セミナー 8月29日 PM、30日 AM

8月29日

13:30～13:40：開会の挨拶 加藤治一（高知大学）
— 第1部（13:40～15:10）座長：加藤治一 —

13:40～14:20：「金相研における遍歴電子系の研究」吉村一良（京大）※特別講演
14:20～14:45：「 URu_2Si_2 の隠れた秩序の研究」神戸振作（原子力機構）
14:45～15:10：「新奇超伝導体 UTe_2 純良単結晶育成法と物性」酒井宏典（原子力機構）
休憩（15:10～15:20）

— 第2部 (15:20~16:35) 座長：酒井宏典 —

15:20~15:45：「自作装置で切り拓く磁性体のNMR研究」北川健太郎（東大）

15:45~16:10：「多 f 電子系における強相関電子状態の研究」松田達磨（都立大）

16:10~16:35：「TBA」安岡弘志（東大名誉教授）

— ポスター発表 (16:35~17:30) —

P1 「La-Co 共置換 M 型フェライトの Co 置換サイトと一軸磁気異方性」和氣剛（京大）

P2 「Yb 化合物における圧力誘起リエントラント価数揺動の観測」辻井直人（NIMS）

P3 「水素液化のための磁気冷凍材料」桜井裕也（NIMS）

P4 「励起子絶縁体の候補物質であるコバルト酸化物のNMR測定」森川泰樹（高知大）

P5 「トンネル型結晶構造を有するバナジウム酸化物のソフト化学的手法による試料合成」根上友真（高知大）

P6 「金属絶縁体転移に向かう $\text{CaCu}_3\text{Ti}_{4-x}\text{Ru}_x\text{O}_{12}$ の微視的電子状態の変化」西本大樹（高知大）

P7 「イオン秩序度を変化させたペロブスカイト酸化物合成の試み」川勝宏人・日び優太（高知大）

8月30日

9:00~9:05：2日目開会の挨拶（加藤治一）

— 第3部 (9:05~10:20) 座長：桜井裕也 —

9:05~9:30：「熱電変換特性を示す遷移金属酸化物の固体化学」加藤将樹（同志社大）

9:30~9:55：「 d 電子のスピン揺らぎ・ f 電子の価数揺らぎを利用した熱電材料」辻井直人（NIMS）

9:55~10:20：「放射光メスbauer分光法による鉄系超伝導体の軌道秩序の観測」池田修悟（兵庫県立大）

休憩 (10:20~10:30)

— 第4部 (10:30~14:45) 座長：辻井直人 —

10:30~10:55：「水素液化のための磁気冷凍材料」桜井裕也（NIMS）

10:55~11:20：「CeCoSi の構造物性」川村幸裕（室蘭工業大）

11:20~11:45：「TBA」小林理気（琉球大）

11:45~12:00：閉会の挨拶 加藤治一（高知大）



連絡先：加藤治一 [katoharu * kochi-u.ac.jp](mailto:katoharu@kochi-u.ac.jp) (*を@に代えてください)